

# MISSION



**獨協医科大学**  
Dokkyo Medical University

2026年4月発行

## 建学の精神

### 学問を通じての人間形成

#### 建学の理念

- 1) 人間性豊かな医師及び看護職者の育成
- 2) 能力の啓発に重点を置く教育方針
- 3) 地域社会の医療センターとしての役割の遂行
- 4) 国際的交流に基づく医学・看護学研究

#### 医学部 教育理念

患者及びその家族、医療関係者をはじめ、  
広く社会一般の人々から信頼される医師の  
育成。

## 医学部 ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

本学の建学の精神・理念に則り、所定の教育課程を修め、以下の学修成果（アウトカム）を達成した者に学士（医学）の学位を授与します。

#### 医師としてのプロフェッショナリズム

幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる。

#### 能動的学修能力

医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる。

#### 地域医療の理解

地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる。

#### 国際性

国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる。

#### リサーチマインド

研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる。

## 医学部

### カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

学生がディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果（アウトカム）を達成するために、以下の知識・技能・態度を育成する6年一貫の教育カリキュラムを編成し実践します。

また、学修成果の可視化を推進し、その評価は総括的、形成的及び多角的な方法で、公平・公正に実施します。

#### 医師としてのプロフェッショナリズム

- 1 幅広い教養を涵養し、多様な価値観を尊重できる人間性と品格を身につける。
- 2 医師の職責を自覚し、利他の精神を持って、患者中心の医療を実践できる。
- 3 患者・家族・他の医療者と適切な人間関係を構築し、協働できる。
- 4 専門領域にとどまらず、個人と社会のウェルビーイングの実現を図ることができる。

#### 能動的学修能力

- 1 生涯にわたって主体的に学び、省察し、他者と共に研鑽し続けることができる。
- 2 医学及び関連領域の知識、並びに科学的根拠に基づく問題解決能力を身につける。
- 3 情報・科学技術のリスクとベネフィットを理解し、学修に活用できる。
- 4 確実で信頼される診療技能を身につけ、最適な医療を実践できる。

#### 地域医療の理解

- 1 地域医療の現状と問題点を把握し、公衆衛生の向上に貢献する意義を理解する。
- 2 医療に係る財政・政策等の社会的視点を身につけ、医療資源の適正な配分や地域医療の構築を理解する。
- 3 医療関連法規、社会保障制度、社会福祉制度及び関係者の役割を理解する。
- 4 地域との連携のもと、医療・保健・福祉・介護に関わる人々と協働できる。

#### 国際性

- 1 国際交流に積極的に参加できる。
- 2 医学・医療をグローバルな視点で捉える国際性を身につける。
- 3 国際社会における医学・医療の動向と課題を理解する。
- 4 医学・医療に関して外国語で発信・議論することができる。

#### リサーチマインド

- 1 医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身につける。
- 2 研究に関する倫理的・法的事項を遵守しながら、研究を計画し、実践できる。
- 3 情報・科学技術を活かし、医学研究に活用できる。
- 4 研究結果を論理的に解釈し、発信・議論することにより、医学・医療の進歩に貢献する。